世論調査で探る「世論」と「世論調査」

世論調査部　原　美和子／中野佐知子

文研では毎年，特定のテーマについて所外の研究者を中心に論考を集めた研究誌『放送メディア研究』を刊行しているが，2016年2月刊行予定の最新号（13号）では，「『世論』をめぐる困難」というテーマで，「世論調査」の現場で昨今生じている課題や，「世論」形成の仕組み，「世論」と社会との関係，などについてのさまざまな研究成果をとりあげる。

世論調査部では，刊行にあたってひとつの試みとして，外部研究者と共同で世論調査を実施した。インターネットが普及するなど，情報環境が大きく変容する中，人々の「世論」形成にはどのような特性がみられるのか，といった世論形成過程を探ることが目的である。また，質問項目には，分析にあたっての変数として，「世論調査」そのものについての質問も組み込んだ。結果の主要な分析の報告は『放送メディア研究』第13号で紹介するが，ここでは主に「世論調査」に関わる質問について，その結果の概要を報告する。

マスメディアが行う世論調査に対しては，全体の6割程度が「注意を払っている」が，70歳以上では7割を超える一方，30代以下では5割を切るなど，年層による違いが目立つ。また，政治家は世論調査結果に敏感であるべきだ，と思う人が多数である。しかしその一方で，重要な政策判断の際，世論調査結果をそのまま反映させるべきか，という点については，また違った判断軸があるようである。

はじめに

放送文化研究所では，放送にまつわるさまざまなテーマについて，専門の研究者たちの最新の論考をまとめた『放送メディア研究』を刊行している。この『放送メディア研究』の最新号（第13号）は，世論調査部が企画した「『世論』をめぐる困難」というテーマで，1年以上にわたる編集作業を経て2016年2月末に刊行する運びとなっている。世論調査部では「『世論』をめぐる困難」というテーマに関連した「『世論』形成と情報利用に関する世論調査」を2015年5月に実施した。この調査は，先行研究を進めていた中央大学・安野智子教授，関西学院大学・三浦麻子教授，同大・稲増一憲准教授の3名との共同研究の体制で企画・実施した。調査の結果のうち，主に世論形成のメカニズムに関する分析は共同研究者3名が行い，『放送メディア研究』に収録するが，本稿では世論調査に対する意識についての結果を中心に紹介する。

近年，新聞社やテレビ局が実施した世論調査の結果が大きく報道されるようになり，注目度が高まっている。原子力発電の利用や安保法案の是非など，国民の中で賛否が分かれる争点が多く存在することもあるだろう。ただ一方で，同じテーマについて賛否を尋ねても，調査を実施する報道機関によって結果が異なることがしばしば問題提起されることもあり，どの世論調査の結果が信頼に値するのか，戸惑いの声も聞かれ始めている。さらにここ数年，SNSなどインターネット上で交わされた発言を分析して“ネット世論”として報道する記事も目

立ち始めた。世論調査などではなかなか測ることができない本音ベースの意見として，人々に影響力を持ち始めている。

世論報道への注目が高まる一方で，「世論」の鏡としてあるべき「世論調査」も，近年は調査への協力に対する否定的な意識やプライバシー情報の保護への関心の高まりから，調査の協力率（調査有効率）が徐々にではあるが，低下し続けている。また，電話世論調査の場合は，若年層を中心に固定電話の所有率が低下傾向にあり，得られた結果に疑問を呈する声も聞かれる。

そもそもメディア環境の大きな変化により，人々の思考や意見形成の過程においてテレビや新聞といったマスメディアが深く関わっていた時代から，インターネット上の膨大な情報やコミュニケーションが存在感を増し，「世論」が形成される過程はより複雑になってきていることが想像できる。こうした現代社会で，私たち世論調査部は何を「世論」として汲み取り，人々に伝えていかなければならないのだろうか。また，現在の「世論調査」という手法の精度の向上に，何を考えていかなければならないのだろうか。大きな転換期を迎えていると思う今，まずは「世論」および「世論調査」をめぐるさまざまな局面における「困難」を可視化し，整理したいと考え，『放送メディア研究』の企画テーマ「『世論』をめぐる困難」を提案したのである。

『放送メディア研究』の企画を具体化する過程で，今回のテーマを世論調査データで検証し，論考としてまとめられないかというアイデアが湧いた。そこで，人々がある争点について意見を形成するにあたり，どのようなメディアから情報を取得し，どのようなコミュニケーション過程を経て判断していくのか，といった世論形成をめぐる動きについて焦点をあてた調査の実施の検討を始めた。この中で，マスメディアが報じる世論調査の結果に対する意識や考え方，信頼度なども世論形成をめぐる動きを探るひとつの変数として考え，質問項目に加えた。つまり，「世論調査」に対する人々の考え方を世論調査によって探るユニークな試みにもなった[1)]。調査の概要は，以下のとおりである。

調査目的：世論が形成される仕組みを，社会に対する意識や情報利用の特性などから探る。
調査時期：2015年5月16日（土）～5月24日（日）
調査方法：配付回収法
調査対象：全国の20歳以上の男女
調査相手：住民基本台帳から層化無作為2段抽出した2,400人（12人×200地点）
調査有効数（率）：1,621人（67.5%）

主に「世論調査」については，関心度や，世論調査に対するさまざまな意識・意見，民意反映手段としての評価，といった項目を尋ねている。このほか，世論形成とコミュニケーション過程，メディア接触との関連性の分析に必要な質問項目を採択した。

質問文と単純集計結果，サンプル構成は，57～65ページに掲載した。ただし，世論調査にもともと関心がない人や否定的な考えを持つ人は調査自体に協力していない可能性があり，「世論調査」に関する質問項目の結果は調査の有効者に限っての結果であることに留意する必要があるだろう。

世論調査結果から

世論調査に『注意を払っている』という人は約6割（第6問）

調査では，人々がそもそも，世論調査というものにどの程度注意を払っているのか，について尋ねた。新聞やテレビなどのメディアで伝えられる世論調査に「かなり注意を払っている」という人は9%，「やや注意を払っている」(47%)を含めた，『注意を払っている』という人は56%と約6割である（**図1**）。

『注意を払っている』人の割合は，男性（63%）のほうが女性（50%）より高い。また年層別にみると高年層ほど高く，70歳以上では7割を超えるが，30代以下では5割を切り，20代では25%である（**図2**）。

図1　世論調査に注意を払っているか（全体）

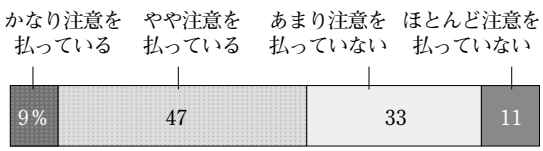
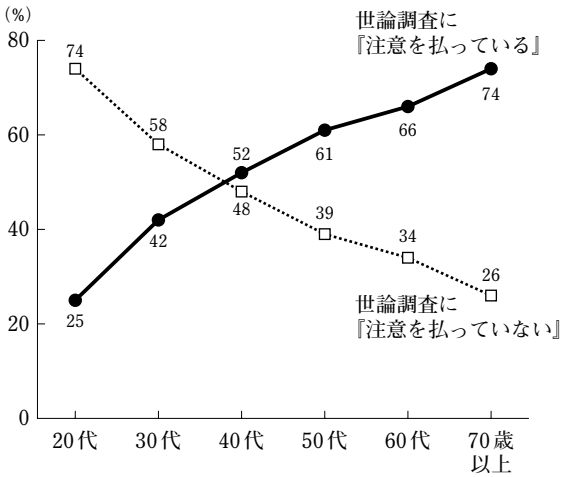


図2　世論調査に注意を払っているか（年層別）



世論調査は国民の声を政治に反映させているか（第4問）

それでは，「世論調査」にはどんな役割があると考えられているのだろうか。調査ではそのひとつの指標として，「国民の声を政治に反映させる」手段としての評価を尋ねた。これはいわば，民主主義社会の実現手段としての役割の評価である。具体的には，選挙や国会といった政治システム，それに，マスメディア（テレビ・新聞），インターネット，世論調査の計6項目について，「○○があるから国民の声が政治に反映される」と思うかどうか，それぞれ4段階で尋ねた（**図3**）[2)]。

図3の右に示した「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計（＝『そう思う』）をみると，全体的に評価が高いわけではなく，5割を超えるのは「選挙」と「テレビ・新聞」の2つである。「世論調査」は44%だが，「政党」や「国会」といった，まさに民主主義を支えるシステムの評価と同程度である。相対的にみれば，世論

図3　民意反映手段としての評価（全体，『そう思う』が多い順）

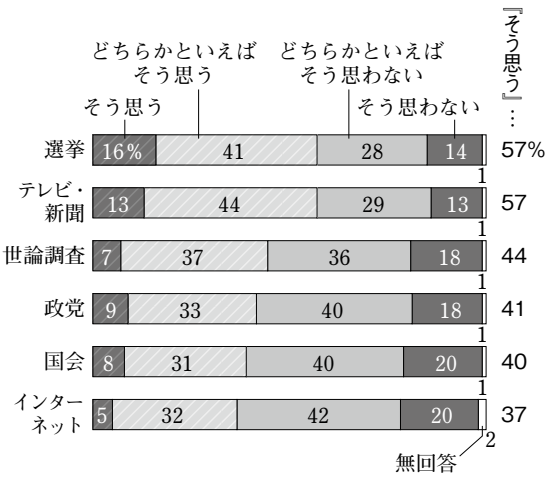


図 4-1　民意反映手段としての評価
（『そう思う』，年層別）

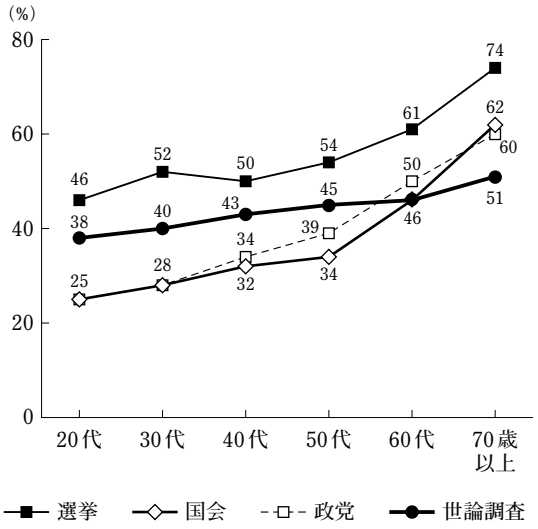
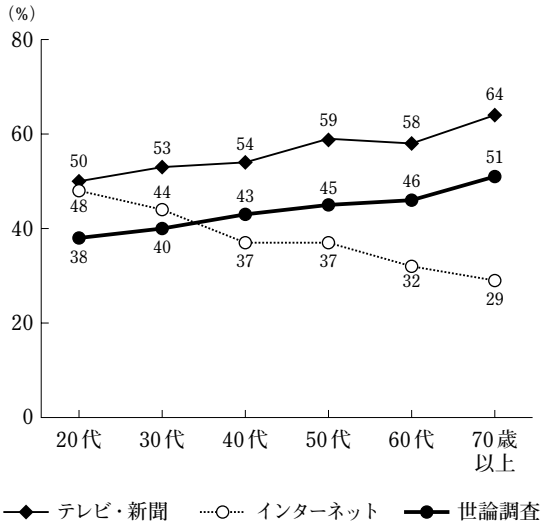


図 4-2　民意反映手段としての評価
（『そう思う』，年層別）



調査の評価は，決して低いものではない，とみてもよさそうだ。

このほか，「インターネット」は37％で，「世論調査」に比べると低いが，「国会」とは同程度である。

続いてそれぞれの評価について，「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた結果（＝『そう思う』）を年層別にみたのが**図4-1**と**図4-2**である。なお，比較がしやすいように，「世論調査」の結果は，どちらの図にも掲載した。

まず「世論調査」については，70歳以上で51％と全体より高いが，それ以外の年層では大きな違いはない。

図4-1をみると，「選挙」は70歳以上で，「国会」「政党」は60代以上で全体より高く，高年層で評価が高い。それより若い年層では，「国会」は50代以下，「政党」は40代以下，また「選挙」は20代と40代での評価が全体より低くなっている。

続いて図4-2をみてみよう。「テレビ・新聞」は70歳以上で全体より高いが，それ以外の年層では同程度で，「世論調査」と同様の特徴である。一方「インターネット」は，他の項目との違いが顕著である。若年層（30代以下）で評価が高く，高年層（60代以上）で低い。特に20代での評価（48％）は，「選挙」（46％），「テレビ・新聞」（50％）とほぼ同程度である。

世論調査に対する意見（第８問）

調査ではこのほか，世論調査について人々がどのように考えているのか，さらにそれぞれがどのように関連しているのかを探るため，世論調査について代表的な考え方だと思われる7つの意見を挙げて，「そう思う」から「そう思わない」までの5段階で尋ねた（**図5**）。内容は以下のとおり，括弧内は略称である。

（1）世論調査は人々の意見を公平に反映して

図5　世論調査に対する意見
（全体，『そう思う』が多い順）

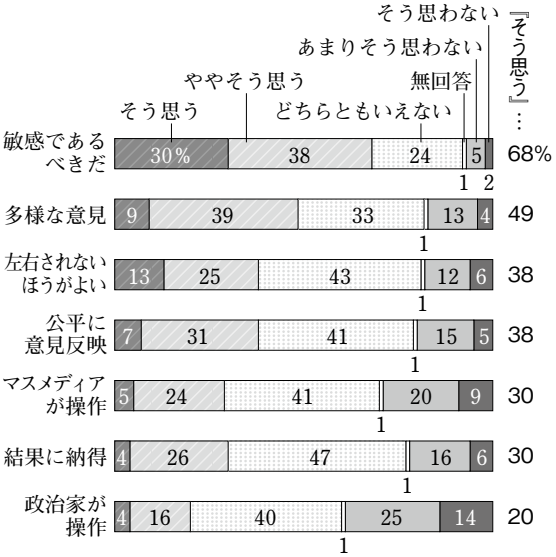
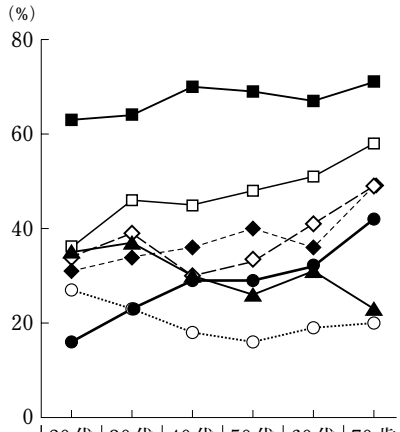


図6　世論調査に対する意見
（『そう思う』，年層別）



	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
敏感であるべきだ	63	64	70	69	67	71
多様な意見	36	46	45	48	51	58
左右されないほうがよい	34	39	30	33	41	49
公平に意見反映	31	34	36	40	36	49
マスメディアが操作	35	37	30	26	31	23
結果に納得	16	23	29	29	32	42
政治家が操作	27	23	18	16	19	20

いる（公平に意見反映）

（2）世論調査の結果はマスメディアに操作されている（マスメディアが操作）

（3）世論調査の結果は政治家に操作されている（政治家が操作）

（4）世論調査の結果には納得がいくことが多い（結果に納得）

（5）世論調査は多様な意見を伝えてくれる（多様な意見）

（6）政治家は世論調査の結果に敏感であるべきだ（敏感であるべきだ）

（7）重要な政策の指針は，そのときどきの世論調査の結果にあまり左右されないほうがよい（左右されないほうがよい）

図5の右に記した「そう思う」と「ややそう思う」の計（＝『そう思う』）が最も多いのは，「敏感であるべきだ」で，7割近い人が『そう思う』と答えている。続いて「多様な意見」（49%）が続くが，すべて半数以下である。

また「マスメディアが操作」（30%），「政治家が操作」（20%）といった懐疑的な見方をする人も，多数ではないが一定程度存在している。

『そう思う』という人の割合を年層別にみたのが**図6**である。

「敏感であるべきだ」は，年層による差はない。また「公平に意見反映」「結果に納得」「多様な意見」「左右されないほうがよい」の4項目では，70歳以上で全体より多い。

一方，「マスメディアが操作」「政治家が操作」という世論調査に対する懐疑的な意見は，20代，30代で全体より多いのが目立つ。

「敏感であるべきだ」を除く6項目では，「どちらともいえない」が3割を超え，無視できない割合を占めている。本当に「どちらとも決められない」という人が多いからという可能性もあるが，世論調査に注意を払っていない人が（あまり注意を払っていない，というレベルの人も含めて）4割程度は存在することを加味すると（第6問），注意の程度の違いが，評価に反映されている可能性もある。そこで，第6問との関連性をみた（**表1**）。

まず，「どちらともいえない」の割合は，どの項目についても，『注意を払っていない』（＝「あまり」＋「ほとんど」注意を払っていない）人のほうが，『注意を払っている』（＝「かなり」＋「やや」注意している）人より高い。

また『そう思う』は，「政治家が操作」「マスメディアが操作」の2項目は，『注意を払っている』かどうかによる違いはみられなかったが，それ以外の5項目では，『注意を払っている』人のほうが『注意を払っていない』人より高い。注意を払っている人のほうが肯定的に評価している，といえそうだ。

なお，「世論調査に注意を払っているか」については，図2で示したように，年層による違いが顕著である。このため，それをコントロールするため，年層で3つに区分したうえで，結果を比較したのが**表2**である。

いずれの年層でも，「政治家が操作」「マスメディアが操作」の2項目では『注意を払っている』かどうかによる違いはない。一方「結果に納得」「多様な意見」は，『注意している』人のほうが高い。

また，『注意を払っている』かどうかによる違いは，60代以上の層で顕著（7項目中5項目で有意な違い）で，20～30代ではそれほどではない（7項目中2項目で有意な違い）。

表1　世論調査に対する意見
（世論調査に『注意を払っている』人別）

	『そう思う』			どちらともいえない		
	『注意を払っている』		『注意を払っていない』	『注意を払っている』		『注意を払っていない』
(%)	913人		703人	913人		703人
公平に意見反映	46	＞	28	37	＜	46
マスメディアが操作	31		28	38	＜	46
政治家が操作	19		21	38	＜	43
結果に納得	40	＞	17	42	＜	54
多様な意見	59	＞	35	26	＜	43
敏感であるべきだ	75	＞	59	19	＜	31
左右されないほうがよい	41	＞	34	38	＜	49

注）表中の不等号（＜＞）は，両側の数字を比較した検定結果である（信頼度95%）。左側が高ければ「＞」，低ければ「＜」で示した（以下同様）。

表2　世論調査に対する意見
（『そう思う』，世論調査に『注意を払っている』人別）

	20～30代			40～50代			60代以上		
	『注意を払っている』		『注意を払っていない』	『注意を払っている』		『注意を払っていない』	『注意を払っている』		『注意を払っていない』
(%)	141人		256人	320人		251人	452人		196人
公平に意見反映	38		30	45	＞	28	50	＞	25
マスメディアが操作	39		34	31		25	28		25
政治家が操作	23		25	17		17	18		22
結果に納得	34	＞	12	36	＞	21	45	＞	17
多様な意見	54	＞	35	56	＞	35	62	＞	37
敏感であるべきだ	70		61	78	＞	59	75	＞	56
左右されないほうがよい	41		35	31		32	48	＞	37

政治・政策判断における世論調査の位置づけ

それでは，特に，政治や政策案件について，人々は世論調査の重みや影響力をどのようにとらえているのだろうか。「世論調査の結果」は重要な政策決定にどこまで影響を与えられ，もしくは与えるべきものだと考えているのだろうか。引き続き第8問を手がかりにみていく。

主に注目するのは第8問のこの2項目である。

(6) 政治家は世論調査の結果に敏感であるべきだ（敏感であるべきだ）

(7) 重要な政策の指針は，そのときどきの世論調査の結果にあまり左右されないほうがよい（左右されないほうがよい）

一見，相反するようにも思われるこの2項目について，クロス集計をとった結果が**図7**と**図8**である。「左右されないほうがよい」と思っている（=『そう思う』）人たちでも，その70%が「敏感であるべきだ」（=『そう思う』）と思っている（図7）。

反対に，「敏感であるべきだ」と思っている（=『そう思う』）人たちでも，「左右されないほうがよい」と思っている（=『そう思う』）人が39%と，4割近く存在する（図8）。

この2項目を含めた第8問の項目間の相関係数[3]（上段）と95%信頼区間（下段）を示したのが**表3**である。

区間推定結果が示すように，「敏感であるべきだ」と「左右されないほうがよい」の相関関係は，統計的な誤差を考慮しても，ほぼゼロに近い。この2つは別々の問題，いわば別次元の問題だと考えられているようだ。

また，他の5項目と比べても，「敏感であるべきだ」は「公平に意見反映」「結果に納得」「多様な意見」とそれぞれ相関があるが，「マスメディアが操作」「政治家が操作」とはほとんど相関がない。一方，「左右されないほうがよい」は，「マスメディアが操作」「政治家が操作」と弱い相関があるが，それ以外の3つ（「公平に意見反映」「結果に納得」「多様な意見」）とは相関がない。

「敏感であるべきだ」に，「そう思う」「ややそう思う」という人が全体で7割近くを占めることも含めて考えると，次のようなことが考えられるのではないか。

基本的には，政治（家）は「世論調査の結果に敏感であるべきだ」と考えられている。これは，「公平に意見反映」「多様な意見」といった点で，世論調査がいわば民意を反映する手段として，一定の評価があることとも関連している。

図7 「敏感であるべきだ」

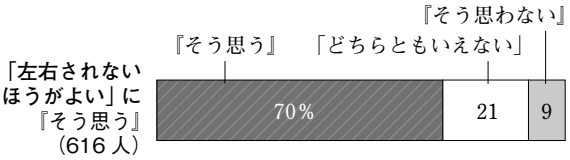


図8 「左右されないほうがよい」

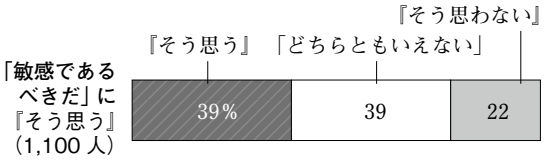


表3　世論調査に対する意見
各項目間の相関係数と区間推定結果

	公平に意見反映	マスメディアが操作	政治家が操作	結果に納得	多様な意見	敏感であるべきだ
マスメディアが操作	−.131**					
	−.179					
	～−.083					
政治家が操作	−.100**	.555**				
	−.148	.520				
	～−.051	～.588				
結果に納得	.518**	−.089**	−.113**			
	.481	−.137	−.161			
	～.553	～−.040	～−.064			
多様な意見	.456**	−.062	−.094**	.485**		
	.416	−.111	−.142	.447		
	～.494	～−.013	～−.045	～.522		
敏感であるべきだ	.249**	−.023	.018	.229**	.290**	
	.203	−.072	−.031	.182	.245	
	～.294	～.026	～.067	～.275	～.334	
左右されないほうがよい	−.020	.182**	.081**	.007	.021	**−.019**
	−.069	.134	.032	−.042	−.028	**−.068**
	～.029	～.229	～.129	～.056	～.070	**～.030**

上段：相関係数（** は両側1%水準の検定で有意のもの）
下段：相関係数の両側95%信頼区間

しかし，だからといって，政治は世論調査の結果に左右されるべきだ，とは考えられていない。世論調査の結果は尊重されるべきだが，「世論調査でこうだからこう決めるべき」というやり方には否定的であるようだ。

「左右されないほうがよい」は，ほかの項目と弱くしか，もしくはほとんど相関がない。「マスメディアが操作」との相関係数（0.182）が最高である。世論調査の結果に政治が従うべきかどうか，という形で考えること自体が，異質であるようだ[4)]。

以上，ごくわずかな質問を手がかりにした分析ではあるが，世論調査をめぐる人々の考えについてみてきた。これもある意味で「世論」といってよいのかもしれない。分析結果を踏まえると，ひとつの解釈として，人々が，政治の場における世論調査結果の重み（＝「敏感であるべきだ」）と，実際の政策的な判断や政治的な決定の妥当性を，はっきりと分別して判断していると考えることができるのではないだろうか。ただし同時に，全体でみれば，それほど多くはないが，世論調査の結果が直接的に政治や政策を決めるようなあり方を望む人（＝「左右されるべきではない」とは思わない人）も存在している。

おわりに

「『世論』形成と情報利用に関する世論調査」の分析の成果に関しては，下記の3本の論文を2月末に刊行予定の『放送メディア研究』13号に掲載する。

・ 安野智子「今日的な世論形成過程の検証」
・ 三浦麻子「一般市民の世論のとらえ方を規定する心理的要因―自己と周囲の他者との関係性の観点から―」
・ 稲増一憲「メディア・世論調査への不信の多面性―社会調査データの分析から―」

安野論文ではインターネットやソーシャルメディアが浸透してきている現代の社会で，世間の人の意見や周囲の人の意見がどのように認知されているのかを検証している。また，三浦論文では，自分と周囲の人との意見の異同や関係性が，世論調査に対する態度にどう関わっているのかを検証した。稲増論文は，マスメディアおよび世論調査への信頼度を規定する要因を検証している。いずれのテーマにおいても世論調査データを使って実証する機会は少ないため，貴重な知見が導かれている。

『放送メディア研究』13号では，大きく3つの章に分けて「『世論』をめぐる困難」の議論を行っている。第1章は，社会の変化により実施においてさまざまな課題を持つ世論測定（＝世論調査）について，第2章は，メディア環境が大きく変化し，インターネット上のコミュニケーションも盛んな時代の世論形成過程の変容について，第3章は，世論が生まれる背景となる人々の基本的な価値観，政治姿勢に変化が起こり，議論を行う土壌（＝公共圏）が築きにくい社会について，それぞれ多様な切り口の論考をまとめた。そして最終章では，こうした困難を乗り越えるための方向性がさまざまな領域の有識者から提起されている。具体的には，世論調査とビッグデータ，それぞれの将来に向けた活用の提案，人々が争点を自分事とし，熟議するリテラシーを向上させる試み，さらに，人々がインターネット上で合意形成する過程を現実化するサービスへの挑戦など，意欲的で示唆に富んだ考察と提言が集まった。

今の時代の「世論」を立ち止まって考えるうえで必要な論点は，極力網羅したつもりである。ぜひお手に取って，ご一読いただきたく思う。

（はら みわこ／なかの さちこ）

注：

1）世論調査の受け止め方を「世論調査」した試みについては，たとえば下記のものがある。
・関根智江「世論調査の有効率を向上させるために～『世論調査に関する調査』から～」『放送研究と調査』2007年11月号
・佐々木毅監修，高木文哉，吉田貴文，前田和敬，峰久和哲『政治を考えたいあなたへの80問 朝日新聞3000人世論調査から』朝日新聞社

2）回答結果を足し上げる場合には，実数で足して％を計算しているため，％を足し上げたものと一致しない場合がある。

3）ピアソンの積率相関係数を使用。なお，順位相関係数（スピアマンのロー，ケンドールのタウ）も求めたが，ほぼ同様の結果だった。

4）なお，この7項目について主成分分析も行ったが，同じような結果が得られた。

「世論」形成と情報利用に関する世論調査　単純集計結果

調査目的	世論が形成される仕組みを，社会に対する意識や情報利用の特性などから探る。
調査時期	2015 年 5 月 16 日（土）～ 5 月 24 日（日）
調査方法	配付回収法
調査対象	全国の 20 歳以上の男女
調査相手	住民基本台帳から層化無作為 2 段抽出 2,400 人（12 人 ×200 地点）
調査有効数（率）	1,621 人（67.5%）

－政治関心－

第１問　選挙のある，なしにかかわらず，いつも政治に関心を持っている人もいますし，そんなに関心を持たない人もいます。あなたは政治上のできごとに，どれくらい注意を払っていますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

1. かなり注意を払っている …… 14.9％
2. やや注意を払っている …… 49.9
3. あまり注意を払っていない …… 28.0
4. ほとんど注意を払っていない …… 7.1
5. 無回答 …… 0.1

第２問

－内閣信頼－

（1）あなたは，安倍内閣をどの程度信頼していますか。あなたのお気持ちに最も近いものに１つだけ○をつけてください。

1. とても信頼している …… 5.3％
2. ある程度信頼している …… 44.4
3. あまり信頼していない …… 39.6
4. まったく信頼していない …… 10.5
5. 無回答 …… 0.2

－内閣支持率推定－

（2）現在の安倍内閣の支持率は，およそどのくらいだと思いますか。0～100％の数字で右づめでご記入ください。

1. 0％～ 20％ …… 4.9％
2. 21％～ 40％ …… 30.7
3. 41％～ 60％ …… 55.0
4. 61％～ 80％ …… 6.4
5. 81％～ 100％ …… 0.7
6. 無回答 …… 2.3

－政党支持－

第３問　あなたがふだん支持している政党はどれですか。１つだけお答えください。

1. 自民党 …… 36.2％
2. 民主党 …… 7.8
3. 公明党 …… 3.9
4. 維新の党 …… 4.8
5. 共産党 …… 3.3
6. 次世代の党 …… 0.1
7. 社民党 …… 0.8
8. 生活の党と山本太郎となかまたち …… 0.1
9. 日本を元気にする会 …… 0.1
10. その他の政治団体 …… 0.1
11. 特に支持している政党はない …… 42.5
12. 無回答 …… 0.3

－民意反映の役割－

第４問　政治についての次の（1）から（6）の意見について，あなたはどう思いますか。それぞれについて１つだけお答えください。

（%）	1. そう思う	2. そう思うどちらかといえば	3. そう思わないどちらかといえば	4. そう思わない	5. 無回答
（1）選挙があるから国民の声が政治に反映される	16.2	41.1	28.1	13.5	1.0
（2）国会があるから国民の声が政治に反映される	8.2	31.3	39.7	19.5	1.2
（3）政党があるから国民の声が政治に反映される	8.5	32.8	39.5	17.8	1.4
（4）テレビ・新聞があるから国民の声が政治に反映される	12.6	44.4	28.7	13.4	0.9
（5）インターネットがあるから国民の声が政治に反映される	4.6	31.9	41.5	19.6	2.3
（6）世論調査があるから国民の声が政治に反映される	6.8	37.4	36.3	18.1	1.4

－民主主義観－

第５問　次にあげる意見について，あなたはどう思いますか。それぞれ１つずつ○をつけてください。

（%）	1. そう思う	2. そう思うやや	3. いえないどちらとも	4. そう思わないあまり	5. そう思わない	6. 無回答
（1）社会に関することは，多数決で決めるのが望ましい	16.2	29.8	40.5	8.5	4.5	0.5
（2）大衆の意見はあてにならない	5.0	15.8	49.6	19.2	9.6	0.9
（3）社会に関することは，専門家が決めるのが望ましい	3.1	15.7	35.0	28.2	17.5	0.6
（4）政治についてよくわかっていない人は選挙に行くべきではない	7.7	10.3	24.6	22.1	34.6	0.6
（5）すぐれたリーダーがいれば，選挙や議論は必ずしも必要ない	2.9	6.7	20.3	25.5	43.7	0.9
（6）完全ではないとしても，現状では民主主義が最良の政治形態だ	34.5	34.6	22.6	4.4	3.5	0.4

－世論調査への関心－

第６問　新聞やテレビなどのメディアでは，さまざまな世論調査の結果が報道されています。あなたはふだん，こうした世論調査に注意を払っていますか。次の中から１つ選んで○をつけてください。

1. かなり注意を払っている ……9.1％
2. やや注意を払っている …… 47.2
3. あまり注意を払っていない …… 32.6
4. ほとんど注意を払っていない …… 10.8
5. 無回答 ……0.3

－世論調査に関する意識（複数回答）－

第７問　世論調査に関する以下の意見について，あなたが「そう思う」と感じるもののすべてに○をつけてください。

1. 2,000 人程度の調査でも，世の中の考え方をほぼ正確にとらえることができる …… 19.2％
2. 新聞社によって世論調査の結果に違いがあるのは，新聞社が操作しているからではない …… 23.1
3. 新聞社の世論調査は，その新聞の読者だけを対象におこなっている …… 18.3
4. １～３の中に，そう思うものはない …… 48.9
5. 無回答 ……1.4

－世論調査に対する意見－

第８問　世論調査に関する次の意見について，あなたはどう思いますか。それぞれについてあなたの意見に最も近いもの１つに○をつけてください。

（%）	1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 無回答
(1) 世論調査は人々の意見を公平に反映している	6.8	31.2	40.8	14.9	5.4	0.8
(2) 世論調査の結果はマスメディアに操作されている	5.2	24.4	41.2	19.7	8.6	0.9
(3) 世論調査の結果は政治家に操作されている	4.0	15.7	39.8	25.0	14.3	1.1
(4) 世論調査の結果には納得がいくことが多い	3.9	25.9	46.8	15.9	6.4	1.2
(5) 世論調査は多様な意見を伝えてくれる	9.4	39.1	33.4	12.9	4.3	0.9
(6) 政治家は世論調査の結果に敏感であるべきだ	30.0	37.9	23.9	5.2	2.3	0.6
(7) 重要な政策の指針は，そのときどきの世論調査の結果にあまり左右されないほうがよい	13.1	24.9	43.1	11.9	6.3	0.7

－個人の政治的有効性感覚－

第９問　次にあげるそれぞれの意見について，あなたのお気持ちに最も近いものを１つずつお選びください。

（%）	1. そう思う	2. そう思うどちらかといえば	3. どちらともいえない	4. そう思わないどちらかといえば	5. そう思わない	6. 無回答
(1) 自分のようなふつうの市民には、政府のすることに対して，それを左右する力はない	31.8	31.8	17.0	10.6	8.2	0.5
(2) 政治や政府は複雑なので，自分には何をやっているのかよく理解できない	18.2	36.7	21.9	14.5	8.0	0.7
(3) 選挙では大勢の人々が投票するのだから，自分一人くらい投票しなくてもかまわない	4.1	10.7	19.1	21.0	44.5	0.6
(4) 国会議員は，大ざっぱに言って，当選したらすぐ国民のことを考えなくなる	33.4	35.2	20.2	7.6	3.2	0.4

－政治参加（複数回答）－

第 10 問　以下のうち，あなたがこの５年間に経験したことにすべて○をつけてください。

1. 選挙で投票した …… 87.2％
2. 自治会や町内会で活動した …… 34.1
3. 必要があって地元の有力者と接触した（会う，手紙を書くなど）……8.9
4. 必要があって政治家や官僚と接触した ……5.1
5. 議会や役所に請願や陳情を行った ……3.6
6. 選挙や政治に関する集会に出席した …… 13.8
7. 選挙運動を手伝った（候補者の応援など）……8.7
8. 市民運動や住民運動に参加した ……4.9
9. 請願書に署名した …… 15.9
10. 献金やカンパをした …… 14.6
11. デモに参加した ……0.8
12. インターネットのホームページや掲示板などで政治について意見を表明した ……1.8
13. マスコミに連絡，投書，出演などして意見を表明した ……0.8
14. 政治的，道徳的，環境保護的な理由で，ある商品を買うのを拒否したり，意図的に買った ……7.6
15. どれもしたことがない ……8.4
16. 無回答 ……0.5

－イデオロギー－

第 11 問　政治的な考え方について，革新的を「０」，保守的を「10」，中間を「５」として，11 段階で表すとしたら，あなたの政治的な立場はどこにあたりますか。０から 10 までの，もっともあてはまる番号１つに○をつけてください。

1. 0（革新的）……3.6％
2. 1 ……0.7
3. 2 ……1.7
4. 3 ……6.6
5. 4 ……8.9
6. 5（中間）…… 29.0
7. 6 ……6.4
8. 7 ……8.9
9. 8 ……7.2
10. 9 ……1.6
11. 10（保守的）……1.7
12. わからない …… 22.9
13. 無回答 ……0.9

―人間関係の等質性認知（友人や知り合い）―

第12問　ふだん，対面で会ったり話したりする人についておたずねします。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(1) あなたの周囲の人々（友人や知り合い）には，あなたと似たような意見の人が多いですか。それとも違う意見を持つ人が多くいますか。

1. 似たような意見の人が非常に多い ……8.0％
2. 似たような意見の人がやや多い …… 37.0
3. 似たような意見の人も，違う意見の人も，同じくらいいる …… 48.7
4. 違う意見の人がやや多い ……4.4
5. 違う意見の人が非常に多い ……1.1
6. 無回答 ……0.8

(2) あなたの周囲の人々（友人や知り合い）には，あなたと似たようなライフスタイル（生活様式）の人が多いですか。それとも違うライフスタイルの人が多くいますか。

1. 似たようなライフスタイルの人が非常に多い ……7.1％
2. 似たようなライフスタイルの人がやや多い …… 31.6
3. 似たようなライフスタイルの人も，違うライフスタイルの人も，同じくらいいる …… 44.9
4. 違うライフスタイルの人がやや多い …… 11.8
5. 違うライフスタイルの人が非常に多い ……3.8
6. 無回答 ……0.8

―人間関係の等質性認知（SNSなど）―

第13問　次に，あなたがソーシャルメディアでつながっている人（Facebookのフレンド・Twitterのフォロワーなど）についておたずねします。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(1) あなたがソーシャルメディアでつながっている人には，あなたと似たような意見の人が多いですか。それとも違う意見を持つ人が多くいますか。

1. 似たような意見の人が非常に多い ……3.1％
2. 似たような意見の人がやや多い …… 13.8
3. 似たような意見の人も，違う意見の人も，同じくらいいる …… 24.9
4. 違う意見の人がやや多い ……2.2
5. 違う意見の人が非常に多い ……1.0
6. ソーシャルメディアを知らない・利用していない …… 53.5
7. 無回答 ……1.5

(2) あなたがソーシャルメディアでつながっている人には，あなたと似たようなライフスタイル（生活様式）の人が多いですか。それとも違うライフスタイルの人が多くいますか。

1. 似たようなライフスタイルの人が非常に多い ……2.5％
2. 似たようなライフスタイルの人がやや多い …… 12.2
3. 似たようなライフスタイルの人も，違うライフスタイルの人も，同じくらいいる …… 23.7
4. 違うライフスタイルの人がやや多い ……4.6
5. 違うライフスタイルの人が非常に多い ……2.3
6. ソーシャルメディアを知らない・利用していない …… 52.9
7. 無回答 ……1.9

―親しく付き合っている人の人数―

第14問　あなたには，日頃から親しくつきあっている方が何人くらいいますか。ただし，同居のご家族やこの1年間で一度も連絡を取り合っていない人は除いてお答えください。

1. いない ……4.3％
2. 1～2人 …… 11.9
3. 3～5人 …… 32.6
4. 6～10人 …… 28.3
5. 11～20人 …… 13.9
6. 21人以上 ……8.1
7. 無回答 ……0.7

―社会的寛容性―

第15問　政治や社会のあり方について，次の（1）～（4）の人と意見が食い違う場合，あなたはどのように思いますか。それぞれについて1つずつお答えください。もし，（1）～（4）にあてはまる人がいなくても「いたらどう思うか」でお答えください。

（%）	1. 意見は違っていてもよい	2. 違っていてもよいどちらかというと意見は	3. 同じ方がよいどちらかというと意見は	4. 意見は同じ方がよい	5. 無回答
(1) 家族	36.6	27.5	27.6	7.0	1.2
(2) 上司や先輩	43.1	32.6	19.0	3.1	2.1
(3) 親しい同僚	38.7	29.3	26.5	3.6	1.8
(4) 親しい友人	37.8	25.3	28.4	7.0	1.5

ー原発問題への関心ー

第16問　あなたは，原子力発電の問題に，どの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 非常に関心がある …… 26.2％
2. ある程度関心がある …… 58.0
3. あまり関心がない …… 12.5
4. まったく関心がない …… 2.8
5. 無回答 …… 0.5

ー原発問題に対する考えー

第17問　原子力発電を今後どうしていくかについて，次のA，Bのような意見があります。

A）温暖化対策や電力の安定供給にもつながるので，代替エネルギーも活用しつつ，当面は原子力発電を維持すべきだ

B）重大な事故が起きる危険があり，放射性廃棄物の処理も困難なので，原子力発電はできるだけ速やかに廃止すべきだ

(1) あなたのご意見はどちらに近いですか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。

1. Aに近い …… 17.8％
2. どちらかといえばAに近い …… 22.8
3. どちらかといえばBに近い …… 26.8
4. Bに近い …… 31.5
5. 無回答 …… 1.1

(2) 世間一般の人では，どちらの意見に近い人が多いと思いますか。

1. Aの意見の人の方がかなり多い …… 2.5％
2. Aの意見の人の方がやや多い …… 13.8
3. 半々くらい …… 38.1
4. Bの意見の人の方がやや多い …… 33.3
5. Bの意見の人の方がかなり多い …… 11.2
6. 無回答 …… 1.0

(3) 新聞やテレビなどマスメディアの報道は，全体的にみて，どちらに近い立場が多いと思いますか。

1. Aの立場の報道がかなり多い …… 3.0％
2. Aの立場の報道がやや多い …… 16.0
3. 半々くらい …… 34.7
4. Bの立場の報道がやや多い …… 35.8
5. Bの立場の報道がかなり多い …… 9.1
6. 無回答 …… 1.4

(4) インターネット上では，どちらに近い意見が多いと思いますか。

1. Aの意見がかなり多い …… 1.1％
2. Aの意見がやや多い …… 9.4
3. 半々くらい …… 42.3
4. Bの意見がやや多い …… 32.6
5. Bの意見がかなり多い …… 8.8
6. 無回答 …… 5.9

ー原発（問題）に関する考えの表明ー

第18問　あなたは，原子力発電に関するあなた自身の意見や考えを，次のようなところで話してもよいと思いますか。（1）～（6）について，それぞれあてはまるものを1つお答え下さい。

(%)	1. 話してもよい	2. 話してもよいどちらかといえば	3. どちらともいえない	4. 話したくないどちらかといえば	5. 話したくない	6. 無回答
(1) 家族との会話	61.3	18.4	13.8	3.1	2.6	0.8
(2) 親しい友人との会話	44.6	26.5	18.2	5.4	4.5	0.9
(3) 知人や同僚との会話	35.7	25.6	25.0	7.1	5.2	1.4
(4) テレビのインタビュー	21.2	17.6	26.7	13.9	19.0	1.5
(5) 自治会やPTAなどの会合	15.7	15.6	32.3	15.9	19.1	1.4
(6) ブログやSNSなどインターネット上の書き込み	14.0	11.6	29.5	12.5	28.7	3.7

ー一般的信頼ー

第19問　話は変わりますが，次の意見について，あなたはどう思いますか。それぞれあてはまるものを1つ選んでお答えください。

(%)	1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. 無回答
(1) ほとんどの人は信頼できる	4.3	24.5	41.3	20.0	9.4	0.6
(2) たいていの人は，人から信頼された場合，同じように相手を信頼する	12.5	44.2	29.2	10.2	3.5	0.4
(3) 機会があれば他人を利用しようと考える人は多いので，人とつきあうときには用心するにこしたことはない	18.7	34.8	30.8	13.2	2.0	0.5
(4) ほとんどの人は正直である	3.6	21.0	40.1	21.3	13.3	0.6

ーネットワークバッテリーー

第20問　あなたがふだんよく話をする人で，20歳以上の方を３人思いうかべてください（仕事の上でよく話をする人でもかまいません）。「１番よく話をする人」「２番目に話をする人」「３番目に話をする人」それぞれについて以下の質問にお答えください。

〈１番よく話をする人〉

(1) その方とはどのような間柄ですか。

1. 配偶者 …… 52.8％
2. 配偶者以外の家族 …… 19.2
3. 親戚 …… 1.6
4. 仕事の同僚 …… 10.2
5. 友人・知人 …… 14.3
6. そのような人はいない …… 1.2
7. 無回答 …… 0.6

(2) では，その方とは，政治のことは話題になりますか。

1. 話題になる …… 53.7％
2. 話題にならない …… 43.5
3. 無回答 …… 1.0
4. 非該当 …… 1.8

(3) その方は，安倍内閣を支持していると思いますか，それとも支持していないと思いますか。

1. たぶん支持している …… 29.1％
2. たぶん支持していない …… 29.6
3. わからない …… 38.3
4. 無回答 …… 1.2
5. 非該当 …… 1.8

(4) その方は，原子力発電の維持についてどのように考えていると思いますか。

1. たぶん賛成している …… 18.4％
2. たぶん反対している …… 37.0
3. わからない …… 41.8
4. 無回答 …… 1.0
5. 非該当 …… 1.8

〈２番目に話をする人〉

(1) その方とはどのような間柄ですか。

1. 配偶者 …… 7.3％
2. 配偶者以外の家族 …… 33.1
3. 親戚 …… 6.4
4. 仕事の同僚 …… 22.0
5. 友人・知人 …… 25.1
6. そのような人はいない …… 2.3
7. 無回答 …… 3.8

(2) では，その方とは，政治のことは話題になりますか。

1. 話題になる …… 34.4％
2. 話題にならない …… 57.2
3. 無回答 …… 2.3
4. 非該当 …… 6.1

(3) その方は，安倍内閣を支持していると思いますか，それとも支持していないと思いますか。

1. たぶん支持している …… 18.0％
2. たぶん支持していない …… 22.2
3. わからない …… 51.3
4. 無回答 …… 2.5
5. 非該当 …… 6.1

(4) その方は，原子力発電の維持についてどのように考えていると思いますか。

1. たぶん賛成している …… 10.3％
2. たぶん反対している …… 29.1
3. わからない …… 52.5
4. 無回答 …… 2.0
5. 非該当 …… 6.1

〈３番目に話をする人〉

(1) その方とはどのような間柄ですか。

1. 配偶者 …… 4.1％
2. 配偶者以外の家族 …… 13.0
3. 親戚 …… 12.7
4. 仕事の同僚 …… 22.1
5. 友人・知人 …… 35.0
6. そのような人はいない …… 4.9
7. 無回答 …… 8.1

(2) では，その方とは，政治のことは話題になりますか。

1. 話題になる …… 27.6％
2. 話題にならない …… 57.4
3. 無回答 …… 1.9
4. 非該当 …… 13.1

(3) その方は，安倍内閣を支持していると思いますか，それとも支持していないと思いますか。

1. たぶん支持している …… 13.9％
2. たぶん支持していない …… 15.3
3. わからない …… 55.9
4. 無回答 …… 1.9
5. 非該当 …… 13.1

(4) その方は，原子力発電の維持についてどのように考えていると思いますか。

1. たぶん賛成している …… 7.3％
2. たぶん反対している …… 23.2
3. わからない …… 54.8
4. 無回答 …… 1.6
5. 非該当 …… 13.1

ー社会階層ー

第21問　かりに現在の日本の社会全体を，10段階の層にわけることができるとします。一番上を「10」，一番下を「1」とすれば，現在のあなたは，この中のどの層に入ると思いますか。あてはまる数字をお答え下さい。

1. 1（下）……2.4％
2. 2 ……4.0
3. 3 ……13.4
4. 4 ……12.5
5. 5 ……19.1
6. 6 ……14.2
7. 7 ……7.5
8. 8 ……3.9
9. 9 ……0.5
10. 10（上）……0.2
11. わからない ……21.8
12. 無回答 ……0.3

ー組織への信頼ー

第22問　下記に挙げられている団体や組織，人物について，あなたはどの程度信頼していますか。それぞれについて1つずつ選んでください。

（%）	1. とても信頼している	2. かなり信頼している	3. あまり信頼していない	4. まったく信頼していない	5. 無回答
(1) 総理大臣	4.6	32.1	51.4	11.1	0.9
(2) 裁判所	8.3	53.8	31.8	4.3	1.7
(3) 政治家	0.9	11.0	63.7	23.3	1.0
(4) 国会	1.7	18.1	63.2	15.7	1.4
(5) 自衛隊	17.0	54.3	24.1	3.2	1.4
(6) 警察	8.8	47.1	37.8	5.1	1.2
(7) 地方自治体	3.6	38.3	50.4	5.9	1.8
(8) 新聞社	3.0	35.2	51.1	9.4	1.3
(9) テレビ局	3.1	29.6	54.9	11.0	1.4

ー組織・集団参加（複数回答）ー

第23問　次にあげる団体や組織に，あなたは加入していますか。次にあげるもののうち，実際に参加しているものすべてに○をつけて下さい。

1. 政党・政治家の後援会 ……6.6％
2. 自治会・町内会 ……47.7
3. 宗教団体 ……5.0
4. スポーツや趣味の団体 ……22.5
5. ボランティア団体 ……7.2
6. 市民運動・住民運動団体 ……2.4
7. 労働組合 ……7.7
8. 同業者団体（専門職団体，農協，漁協，商工会議所など）……8.6
9. PTA ……11.0
10. 学校の同窓会 ……20.4
11. この中のどれにも参加していない ……29.7
12. 無回答 ……0.6

ー政治知識ー

第24問

(1) 日本において，国の予算を国会に提出する権利を持つのはどこだと思いますか。

1. 内閣 ……26.2％
2. 財務省 ……18.4
3. 与党税制調査会 ……1.3
4. 衆議院予算委員会 ……24.1
5. わからない・忘れた ……29.4
6. 無回答 ……0.6

(2) 衆議院で可決された法案が参議院で否決された場合，衆議院で再審議されることになります。衆議院で再び可決して，法案を成立させるためには，衆議院出席議員のうち，どのくらいの割合の賛成が必要になると思いますか。

1. 3分の1以上 ……2.6％
2. 過半数 ……32.8
3. 3分の2以上 ……39.5
4. 4分の3以上 ……1.2
5. わからない・忘れた ……23.3
6. 無回答 ……0.6

(3) 現在の日本の外務大臣は誰だと思いますか。

1. 麻生太郎 ……17.3％
2. 岸田文雄 ……54.5
3. 塩崎恭久 ……2.3
4. 山口俊一 ……0.3
5. わからない・忘れた ……24.9
6. 無回答 ……0.7

ー政治的寛容性ー

第25問　現代の日本にはさまざまな人々が住んでいます。次の（1）～（3）について，あなたはどのように思いますか。あなたのご意見に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

（%）	1. そう思う	2. そうやや思う	3. いえないどちらとも	4. そう思わないあまり	5. そう思わない	6. 無回答
(1) 自分とは全く異なる価値観を持つ人たちが，それに基づいて生活していても，彼らを寛容に受け入れるべきである	18.3	37.4	34.9	6.8	2.0	0.6
(2) 私たちの国や地元の利益に反する主張であっても，規則に従った申請があれば，公民館や公会堂で市民集会を開いても良い	12.8	26.8	38.7	14.9	6.0	0.7
(3) 伝統的な宗教以外の宗教を信じる人も，社会に明確な危害を加えない限りは，その信仰を尊重されるべきである	15.7	31.2	37.4	10.2	4.8	0.7

ー世の中に対する考え方ー

第26問　次の（1）～（9）のそれぞれについて，あなたのお考えはどの程度あてはまりますか。あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

(%)	1. あてはまる	2. あてはまるどちらかといえば	3. どちらともいえない	4. あてはまらないどちらかといえば	5. あてはまらない	6. 無回答
(1) 自分のことに精一杯で、他人のことを考えるだけの余裕はない	9.5	30.2	28.6	22.8	8.0	1.0
(2) 結局，人のことは自分とは関係のないことだ	4.3	16.5	38.6	27.0	12.5	1.1
(3) 自分一人が努力しても、世の中はよくならない	16.3	30.3	28.7	16.5	7.2	0.9
(4) ボランティア活動や奉仕活動などに興味や関心はない	7.0	13.1	37.9	26.1	15.0	0.9
(5) 社会問題は自分の生活とは全く関係ないことだと思う	2.2	6.4	26.7	37.0	26.8	1.0
(6) 政治や社会の問題など，難しいことを考えるのはめんどうである	6.5	17.3	33.1	27.9	14.2	1.0
(7) 何事も深く考えず，その場しのぎで過ごしている	4.4	14.7	32.5	29.6	17.6	1.2
(8) 他人のことで自分の時間をとられたくない	6.7	16.5	37.3	27.1	11.6	0.9
(9) 自分が損をしてまで，皆のためにつくすのはバカげたことだ	3.9	12.8	38.7	28.4	15.4	0.9

ー批判的思考ー

第27問　次にあげることは，あなたにどの程度あてはまりますか。それぞれについて，あてはまる数字に1つ○をつけてください。

(%)	1. あてはまる	2. あてはまるどちらかといえば	3. いえないどちらとも	4. あてはまらないどちらかといえば	5. あてはまらない	6. 無回答
(1) 結論を下す場合には確かな証拠があるかどうかにこだわる	20.4	46.5	25.4	4.8	1.9	1.0
(2) いつも偏りのない判断をしようとする	14.2	41.8	35.5	5.3	2.0	1.2
(3) 複雑な問題について順序立てて考える	17.0	45.6	28.6	6.0	1.7	1.0

ーメディア信頼度ー

第28問　あなたは，次の（1）～（5）について，どの程度信頼していますか。それぞれについて，あてはまる数字に1つ○をつけてください。

(%)	1. 信頼している	2. 信頼しているまあ	3. いえないどちらとも	4. 信頼していないあまり	5. 信頼していない	6. 無回答
(1) テレビのニュース	15.1	58.2	16.1	7.5	2.5	0.6
(2) 新聞の記事	13.1	57.8	19.2	6.4	2.9	0.6
(3) 週刊誌・雑誌の記事	0.5	10.1	39.7	36.1	12.7	0.9
(4) Yahoo! などのポータルサイトのニュース	1.6	23.9	43.7	17.1	9.0	4.6
(5) 2ちゃんねるなどの掲示板やブログ	0.5	5.0	33.0	27.3	29.4	4.8

ーテレビ視聴時間ー

第29問　あなたはふだん，平均して1日に何時間ぐらいテレビを見ますか。

1. 30分ぐらい …… 4.9％
2. 1時間ぐらい …… 14.1
3. 2時間ぐらい …… 23.8
4. 3時間ぐらい …… 21.5
5. 4時間ぐらい …… 13.7
6. 5時間ぐらい …… 10.2
7. 6時間以上 …… 6.4
8. ほとんど・まったく見ない …… 5.2
9. 無回答 …… 0.2

ー新聞閲読頻度ー

第30問　あなたはふだん，どのぐらいの頻度で新聞を読みますか。

1. 毎日のように …… 52.2％
2. 週に3～4日ぐらい …… 9.4
3. 週に1～2日ぐらい …… 8.8
4. 月に1～2日ぐらい …… 3.7
5. ほとんど・まったく読まない …… 25.7
6. 無回答 …… 0.2

ー（PC）インターネット利用時間ー

第31問　あなたはふだん，平均して1日に何時間ぐらいパソコンでインターネットを利用しますか。

1. 30分ぐらい …… 16.9％
2. 1時間ぐらい …… 14.9
3. 2時間ぐらい …… 7.0
4. 3時間ぐらい …… 4.6
5. 4時間ぐらい …… 1.7
6. 5時間ぐらい …… 0.4
7. 6時間以上 …… 1.5
8. ほとんど・まったく利用しない，持っていない …… 52.8
9. 無回答 …… 0.1

ー（携帯・スマホ）インターネット利用時間ー

第 32 問　あなたはふだん，平均して 1 日に何時間ぐらい携帯電話（スマートフォンを含む）でインターネットを利用しますか。

1. 30 分ぐらい …… 21.9 %
2. 1 時間ぐらい …… 15.8
3. 2 時間ぐらい …… 7.8
4. 3 時間ぐらい …… 4.3
5. 4 時間ぐらい …… 1.7
6. 5 時間ぐらい …… 1.3
7. 6 時間以上 …… 1.0
8. ほとんど・まったく利用しない，持っていない …… 46.0
9. 無回答 …… 0.2

ーインターネット利用頻度ー

第 33 問　あなたはふだん，インターネット（パソコン・携帯電話・スマートフォンなどを含む）で，次にあげるものを利用していますか。あてはまるものを 1 つお選びください。

（%）	1. ほぼ毎日	2. 週に 3～4 日程度	3. 週に 1～2 日程度	4. たまに利用する程度	5. ほとんど・まったく利用しない	6. 無回答
（1）Twitter	4.3	1.3	1.2	5.7	85.0	2.5
（2）Facebook	6.7	2.3	2.2	7.9	78.6	2.3
（3）LINE	26.9	5.1	2.6	7.6	55.9	1.9
（4）mixi	0.8	0.6	0.7	3.1	92.2	2.7
（5）YouTube	5.9	7.0	8.9	22.0	53.9	2.3
（6）ニコニコ動画	1.0	1.3	1.3	7.3	86.7	2.3
（7）2 ちゃんねる	1.7	1.2	1.0	7.0	86.9	2.2

ーニュースへの接触頻度ー

第 34 問　あなたはふだん，次に挙げることをどの程度行いますか。それぞれあてはまるものを 1 つずつお答えください。

（%）	1. ほぼ毎日	2. 週に 3～4 日程度	3. 週に 1～2 日程度	4. たまに利用する程度	5. ほとんど・まったく利用しない	6. 無回答
（1）テレビで政治ニュースを見る	59.8	12.7	6.8	12.4	8.0	0.4
（2）新聞で政治記事を読む	33.1	11.7	8.6	18.3	27.9	0.4
（3）雑誌で政治記事を読む	2.3	2.0	5.4	27.8	62.1	0.5
（4）インターネット上で政治ニュースを見る	14.9	9.8	7.3	17.8	49.1	1.0
（5）インターネット上で政治に関する他の人の意見を見る	4.3	5.2	5.5	15.7	68.3	1.0
（6）インターネット上で政治について発言をする	0.2	0.5	0.8	3.4	94.1	1.0

第 35 問（性別）（サンプル構成比参照）
第 36 問（生年）（サンプル構成比参照）
第 37 問（職業）（サンプル構成比参照）

ー世帯年収ー

第 38 問　昨年 1 年間の，あなたのご家族全部の方の給料，年金，その他のすべての収入を合わせるとどのくらいになりますか。税金やその他で引かれる前の額でいうと，下記のいずれに該当しますか。

1. 300 万円未満 …… 21.5 %
2. 300 ～ 400 万円未満 …… 12.8
3. 400 ～ 500 万円未満 …… 9.7
4. 500 ～ 600 万円未満 …… 9.3
5. 600 ～ 700 万円未満 …… 6.7
6. 700 ～ 800 万円未満 …… 5.2
7. 800 ～ 900 万円未満 …… 3.1
8. 900 ～ 1,000 万円未満 …… 3.4
9. 1,000 ～ 1,200 万円未満 …… 3.1
10. 1,200 万円以上 …… 3.7
11. わからない・答えたくない …… 20.4
12. 無回答 …… 1.1

ー婚姻状況ー

第 39 問　あなたはご結婚されていますか。

1. 未婚 …… 19.0 %
2. 既婚 …… 68.8
3. 離別・死別 …… 11.7
4. 無回答 …… 0.4

ー子どもの有無ー

第 40 問　あなたには，お子さんがいますか。次のように分けると，どれにあたりますか。2 人以上いる場合は，いちばん下のお子さんのことをお答えください。

1. 小学生以下の子どもがいる …… 15.6 %
2. 中学生または高校生の子どもがいる …… 8.9
3. 上記以外の子どもがいる …… 46.6
4. 子どもはいない …… 27.1
5. 無回答 …… 1.8

ー学歴ー

第 41 問　あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれに当たりますか。

1. 中学校 …… 12.0 %
2. 高校 …… 39.5
3. 専門学校（高校卒業後）…… 12.8
4. 高専 …… 0.7
5. 短大 …… 8.6
6. 大学 …… 22.5
7. 大学院 …… 2.0
8. その他 …… 1.0
9. 無回答 …… 0.8

●サンプル構成比

全体	性		年層					
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,621人	791	830	160	238	318	254	342	309
100.0%	48.8	51.2	9.9	14.7	19.6	15.7	21.1	19.1

全体	男の年層						女の年層					
	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,621人	82	119	146	128	161	155	78	119	172	126	181	154
100.0%	5.1	7.3	9.0	7.9	9.9	9.6	4.8	7.3	10.6	7.8	11.2	9.5

全体	職業													
	農林漁業	自営業	経営者	管理職	販売・サービス	技能・作業	事務・技術	専門・自由	無職・年金生活	専業主婦・主夫	学生	求職中	その他	無回答
1,621人	17	86	27	56	237	225	303	53	375	138	17	19	59	9
100.0%	1.0	5.3	1.7	3.5	14.6	13.9	18.7	3.3	23.1	8.5	1.0	1.2	3.6	0.6

全体	都市規模				
	特別区・人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
1,621人	293	388	400	257	283
100.0%	18.1	23.9	24.7	15.9	17.5

●有効率

	全体	性		年層					
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
指定サンプル	2,400人	1,182	1,218	303	397	465	342	433	460
有効サンプル	1,621人	791	830	160	238	318	254	342	309
有効率	67.5%	66.9	68.1	52.8	59.9	68.4	74.3	79.0	67.2

	全体	男の年層						女の年層					
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
指定サンプル	2,400人	158	199	220	175	205	225	145	198	245	167	228	235
有効サンプル	1,621人	82	119	146	128	161	155	78	119	172	126	181	154
有効率	67.5%	51.9	59.8	66.4	73.1	78.5	68.9	53.8	60.1	70.2	75.4	79.4	65.5

	全体	都市規模				
		特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
指定サンプル	2,400人	516	564	588	372	360
有効サンプル	1,621人	293	388	400	257	283
有効率	67.5%	56.8	68.8	68.0	69.1	78.6

●不能理由

全体	不能合計	場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	留め置き不可能	自宅療養	拒否	その他	死亡	受け取り不可能	紛失・汚損	対象違い
2,400人	779	28	105	13	41	44	45	28	328	1	9	129	2	6
100.0%	32.5%	1.2	4.4	0.5	1.7	1.8	1.9	1.2	13.7	0.0	0.4	5.4	0.1	0.3